



No.3458

第3776回例会  
令和5年4月5日

# OBIHIRO ROTARY CLUB

## DISTRICT 2500

方針 「グレート・リセット 未来へ！」 会長 竹川博之

2022–23年度国際ロータリーのテーマ イマジン ロータリー

### ■会長報告



### 竹川 博之会長

月も改まり、4月になりました。今日は母子の健月間となっています。この点について触れてみたいと思います。

生まれてくる子供は生まれる家庭、場所等を選択する事はできません。たまたま生まれ出た状況で、人生を全うする事が出来ない子供が世界中でたくさんいます。毎年、5歳未満で命を落とす子供は世界で推定590万人。その原因は栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防可能なものばかりです。予防可能な原因、すなわち避けることが可能であるにもかかわらず、母と子供が命を落とす事があってはならないとロータリーは考えています。すべての母子が全て等しく質の高い医療を受けられるよう、そして出産で命を落とす母親がいなくなり子どもがすくすく成長できる様に私たちロータリアンは支援活動を行っています。その活動の一端をご紹介します。

①ハイチは西半球で母子の死亡率が最も高い国です。

この国で、医療ボランティアと助産師が僻地に住む母と子供

### ■プログラム

#### (出席委員会)

「自然災害に対する備え等について」

株NTTドコモ 北海道東支店 ネットワーク課長 若林 大輔 様

**自然災害に対する備え等について**  
～NTTドコモの災害対策～

docomo  
株式会社ドコモCS北海道  
北海道東支店

#### 目次

1. ドコモの災害対策のご紹介
2. 2016年の台風災害を踏まえた 災害対策
3. 2018年の災害を踏まえた 更なる災害対策

**2011年東日本大震災からの教訓**

- 東日本大震災での対応から、激甚災害における通信確保の教訓を得る
- これを機に「新たな災害対策」を策定、実行

**東日本大震災を踏まえた新たな災害対策**

- 「新たな災害対策」：として下取り組みを宣言し、2012年度までに完了
- 重要エリアにおける 通信の確保
- 被災エリアへの 迅速な対応
- 災害時における お客様の更なる 利便性向上

**③ 多様な自然災害に対応できる更なる災害対策**

多様化する自然災害への備えとして、沿岸部や山間部などの避難確保を目的とした「沿岸・山間部」の構築や、避難者が無い島上から広範囲をカバー化できる「船・基地局」の導入など、更なる災害対策を取り込んでいます。

**台風10号の災害対策 個別性向上の取り組み**

～伝送路の多ルート化～  
さらなる信頼性向上のため、伝送路のルートを増やし、被災した場合の代替ルートを確保する

**台風10号の災害対策 サービス早期復旧の取り組み**

～衛星移動基地局車等の増配備～  
基地局の代替機能を有する衛星移動基地局車等を増配備する

に医療ケアを提供できる様、医療機器を搭載したジープを寄贈しました。(出産前ケアの移動クリニック)

②インドでは、可動式のがん検診機器一式の提供と認識向上を目的として研修支援の実施をしております。

③世界各国で自宅出産を安全に行うため、ロータリー会員が300万ドルを投入して5年間の試験的プロジェクトを開始しています。

この取組みにより2005年以来、産科ろう孔で苦しむ女性たちの尊厳と希望を取り戻すため毎年数多くの方々を治療により救っています。

以上のように私たちは、各国の地域社会で自力での母子の健康を守る為、様々な支援及び研修を実施しています。これらの持続可能性の確保の為の財源として、ロータリー財團への寄付が活用されています。多くのメンバーによるロータリー財團への寄付をお願いしまして、会長報告とさせて頂きます。

### ■ゲスト紹介

株NTTドコモ 北海道東支店 ネットワーク課長 若林 大輔 様



#### NTTドコモの災害対策3原則

NTTドコモでは、設立当初より「災害対策3原則」を定め、システムとしての信頼性の向上、重要な施設の確保、通信サービスの早期復旧を実現できるよう、平時より様々な準備を行ってまいりました。

**災害対策の3原則**

- システムとしての 信頼性向上
- 重要通信の確保
- 通信サービスの 早期復旧

#### 1. ドコモの災害対策のご紹介

#### 2. 2016年の台風災害を踏まえた 災害対策

**① 大ゾーン基地局の設置**

・広域災害・停電時に人口密集地の通信を確保するため、通常の基地局とは別に、大ゾーン基地局を全国10箇所に設置完了。  
○ 東北地方：3箇所（仙台、福島、函館）  
○ 中部地方：3箇所（名古屋、岐阜、松阪）  
○ 関西地方：4箇所（大阪、京都、神戸、奈良）

**② 基地局の無停電化・バッテリー24時間化**

停電にも都道府県、市町村役場等の主要な施設の通話を確保するため約190箇所のエンジンによる無停電化、またはバッテリー2~4時間化対策を実施

\*ドコモの基地局は原則全て、予備電力を具備しています。本振子は、東日本大震災において停電が長期化する系割りから、重要な施設の通話確保のために実施したものとなります

#### 3. 2018年の災害を踏まえた 更なる災害対策

**2016年台風10号の影響**

～駆除通信障害の状況～

発生日時	2016年8月4日(火) 19:30頃
発生要因	暴雨、河川の氾濫による土砂崩れや橋の崩落
故障原因	複数箇所に亘る基地局間の伝送障害
影響エリアと状況	複数箇所に亘る基地局間の伝送障害(光ファイバなど) 道幅が狭い広島県の山間部において、携帯電話がつながらない、つながりにくい状況が発生 特に、清水、新潟、鹿追方面については障害が長期化

**参考)衛星移動基地局車等の増配備**

- 小型化：小回りが利く  
省スペースで設置可能  
普通免許で運転可能
- 迅速化：設置時間が早い  
安全性：高所作業が無い

#### 2016年台風10号の影響

～清水、新潟、鹿追方面の被災状況～  
暴雨、河川の氾濫により土砂崩れや橋の崩落

**継続的な災害対策の取り組み**

～自治体・防災関係機関との防災訓練～

- 技術の継承・習熟を目的として内・外訓練を実施
- 有事の際の連携を目的として関係機関との合同訓練も継続的に実施

